学校番号	４０５

令和２年度　芸術　［音楽］

教科	音楽	科目	ソルフェージュⅠ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	全訳コールユーブンゲン（三木開成館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■　「視唱」「視奏」「聴音」の三つの内容を学習する。それぞれの力をつけることで演奏に対する学習の深まりが得られます。
■　音高やリズムを楽譜から読み取り正しく表現することと、音楽理論とも結びつけて習得することを目指します。
■　学習の到達度は、実技テスト、ワークシートで評価します。

実技テストは、授業中に受講生の前で演奏する発表会の形式で行います。

2　学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽の基礎的な要素（音高・リズム・フレーズなど）が関連しあって形づくられていることを判別し、受け入れる。	楽譜に書かれている情報を正しく把握し、それを反映させた演奏をする。	正確な音程、リズムを表現するための歌唱、演奏の技術を習得する。	音楽の基礎的な要素（音高・リズム・フレーズなど）を聞き取り、違いを感じ取る。
評価方法	観察 演奏発表	観察 ワークシート 演奏発表	観察 演奏発表	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
1学期	**視唱Ⅰ** 「コールユーブンゲンⅠ」 Ｎｏ．１９ ３度音程まで	○	○	○		a:隣り合う音程感覚の把握、四分音符・二分音符の違いに気づいている。 b:アクセント、ブレスの意味を把握し、拍子感をもって演奏している。 c:音程のずれ、休符の長さを意識しながら歌い、正確な演奏を身につけている。	演奏の聴取 振りかえりシート
	聴音Ⅰ 「旋律の書き取り」 穴うめ聴音　プリント	○	○	○	○	a:聴こえてくる旋律を五線譜に書きこむ技法に主体的に取り組んでいる。 b:限られた回数の聴取で旋律を確実に書き取る工夫をしている。 c:音楽の流れの中で、リズム・音程を把握し、正しく記述するための技能を身につけている。 d:書きとった楽譜と聴こえてくる旋律の違いを確認できる。	ワークシート
	視奏 「リズムアンサンブル」	○	○	○		a:作品を形づくっているリズムにふくまれるアクセントや休符の持つ意味などの働きに、興味・関心を持っている。 b:自分のパートにふさわしい表現を工夫している。 C:他のパートと共に一つの表現をするために必要なテンポキープやフレージングを意識して演奏している。	演奏の聴取 振りかえりシート
2学期	**視唱Ⅱ** 「コールユーブンゲンⅡ」 Ｎｏ．２７ 付点リズムまで	○	○	○		a:四度、付点リズムの要素をもった課題に主体的に取り組んでいる。 b:裏拍の意識をもちながら、テンポに遅れず、拍子感をもって演奏している。 c:音程のずれ、休符の長さを意識しながら歌い、正確な演奏を身につけている。	演奏の聴取 振りかえりシート
2学期	**聴音Ⅱ** 「旋律聴き取り キーボード奏」	○	○	○	○	a:聴こえてくる旋律をキーボードで再現する課題に主体的に取り組んでいる。 b:限られた回数の聴取で旋律を確実に把握する工夫をしている。 c:音楽の流れの中で、リズム・音程を把握し、正しく演奏するための技能を身につけている。 d:聴きとった旋律と聴こえてくる旋律の違いを確認できる。	演奏の聴取 振りかえりシート

	ハーモニー唱 「旋律に合わせてハーモニーパートを創作して歌唱する」	○	○	○		a:作品を形づくっているリズムにふくまれるアクセントや休符の持つ意味などの働きに、興味・関心を持っている。 b:自分のパートにふさわしい表現を工夫している。 C:他のパートと共に一つの表現をするために必要なテンポキープやフレージングを意識して演奏している。	演奏の聴取 振りかえりシート
3学期	**視唱Ⅲ** 「コールユーブンゲンⅢ」 Ｎｏ．３１ 八分の六拍子と四分の三拍子、五度音程	○	○	○		a: 八分の六拍子と四分の三拍子、五度音程の要素をもった課題に主体的に取り組んでいる。 b: 八分の六拍子と四分の三拍子の拍子感の違いを把握して演奏している。 c:音程のずれ、休符の長さを意識しながら歌い、正確な演奏を身につけている。	演奏の聴取 振りかえりシート
	演奏実習 自由な課題による演奏発表	○	○	○		a:歌唱、あるいは器楽、各自が選択した分野の演奏に主体的に取り組んでいる。 b:授業で身につけたソルフェージュ力を活用して表現を工夫している。 c: 表現に必要な技能を認識し、ソルフェージュ力を向上させている。	演奏の聴取 振りかえりシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d: 鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。